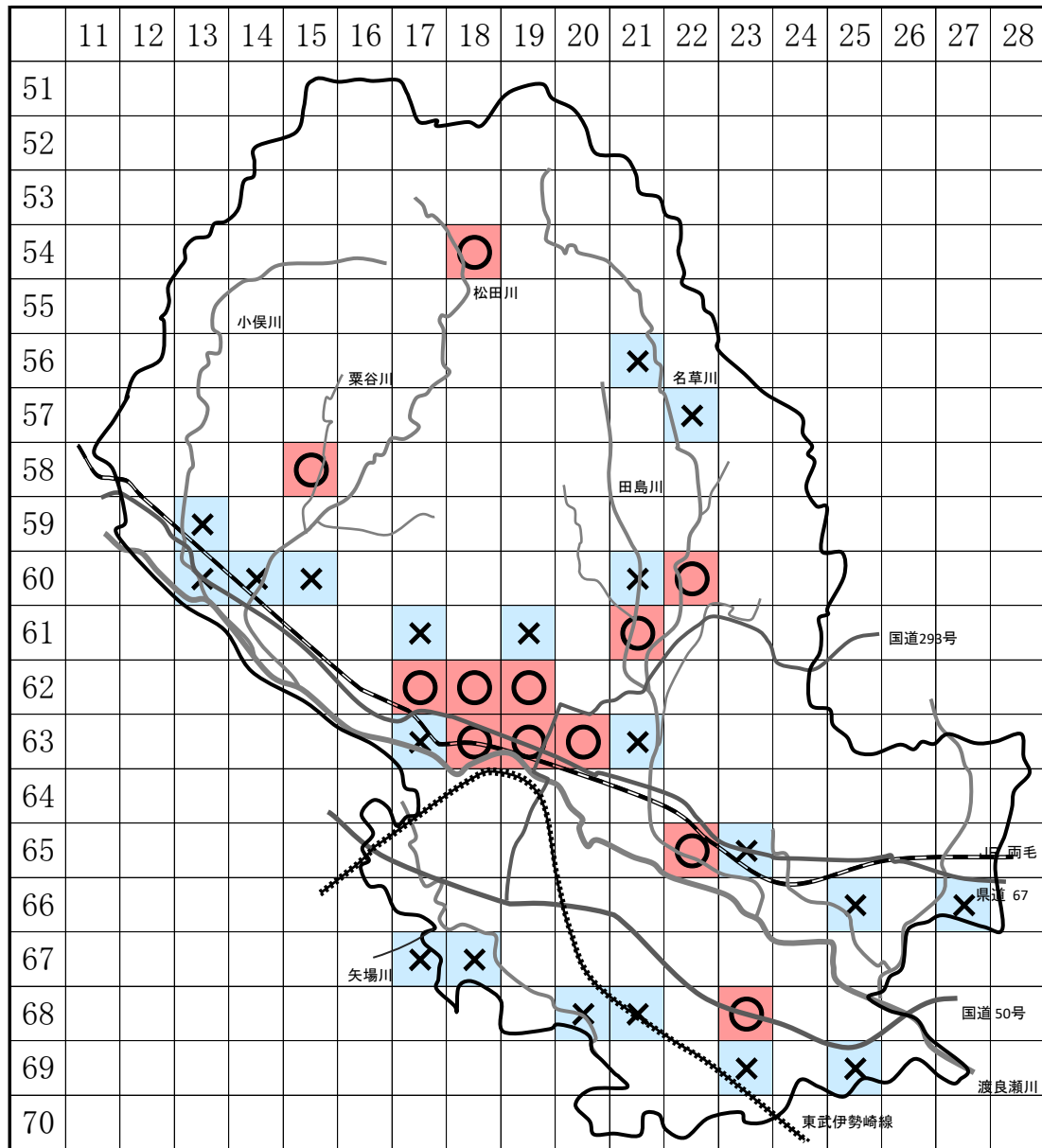


II 調査結果

1 身近な生き物調査結果

アオバズク	確認数： 12 メッシュ
	報告数： 32 メッシュ
	2022年度 10/28 2021年度 13/35

※過年度 確認数/報告数



ハトぐらいの大きさ
でフクロウの仲間。青
葉の茂る頃に飛来する
なつどりである。胸から腹
にかけてまだら模様で
あるが、全体的にこげ
茶色である。神社や
寺、公園などの林で、
日中はほとんど動かな
いが、夜になると蛾や
その他の昆虫をねらっ
て活動する。よくとお
る声で「ホッホー、
ホッホー」と鳴き続け
る。

かんさつてきき
観察適期
5月～10月

- ・生き物が見つかったメッシュ ○ 印で表示
- ・生き物が見つからなかったメッシュ × 印で表示

調査結果

夜行性の鳥の為に、なかなか観察時間帯に発見しにくいと思います。渡来してすぐの頃は朝・晩「ホッホ、ホッホ」と鳴いています。これをたよりに神社や寺、屋敷林等で太い古木の樹洞や幹の割目等をさがしてみてください。

今年は河南地区（久保田町）での報告がありました。来年も来てくれることを期待しています。

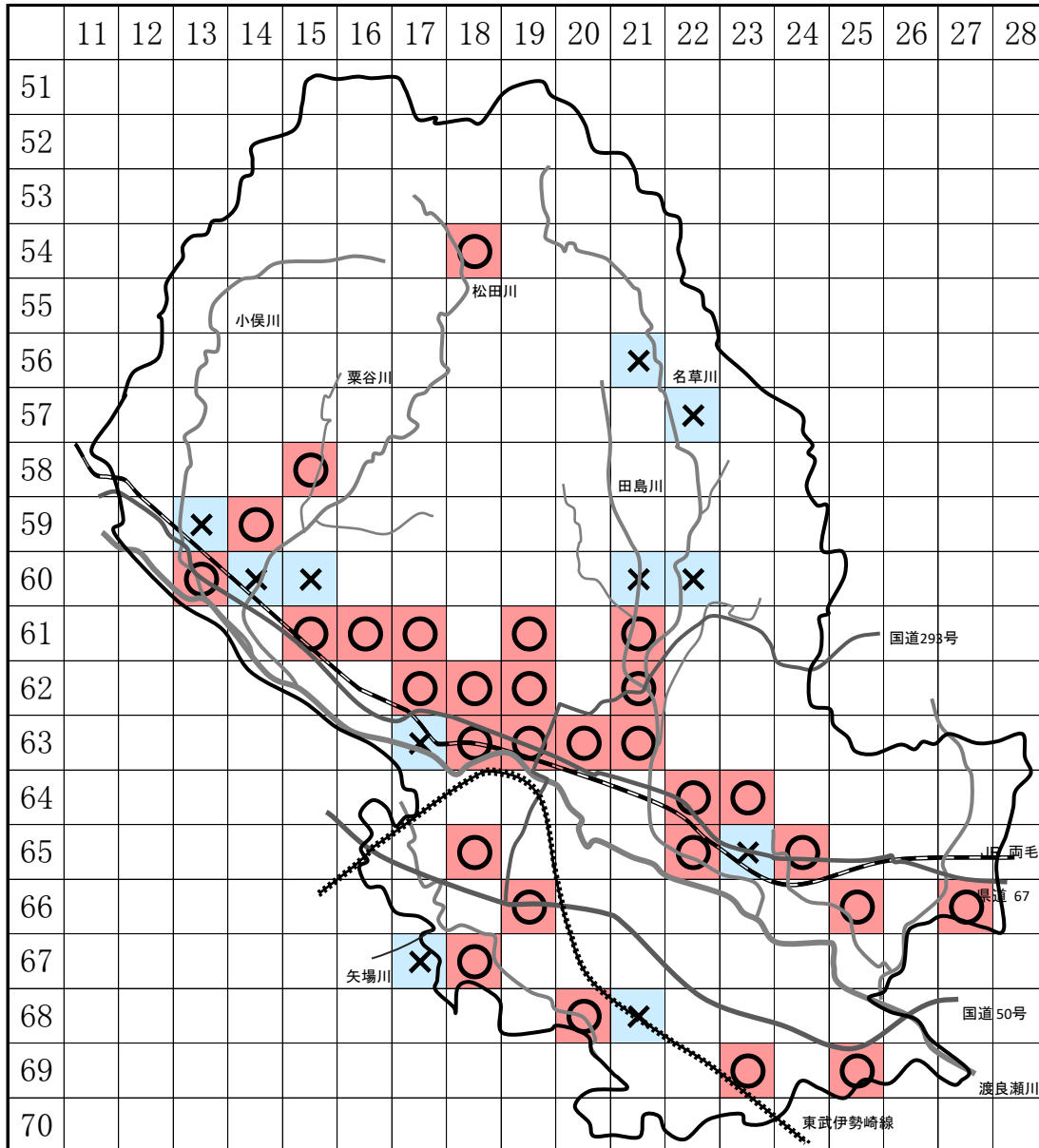
シジュウカラ

確認数： 29 メッシュ

報告数： 40 メッシュ

2022年度 33/39 2021年度 37/45

※過年度 確認数/報告数



スズメぐらいの^{おお}大き
さで、^{はやし}林や^{じゆく}樹木のある
^{こうえん}公園などで^{ふつう}普通に見ら
れる。^{あたま}頭が^{くろ}黒く、^{ほお}ほお
が^{しろ}白く、^{はら}のどから^{はら}腹に
かけて^{くろ}黒い^{くろ}ネクタイを
しているように見え
る。^{せなか}背中は^{はいろ}灰色で^{みどり}緑が
かっている。「ツツ
ピー、ツツピー」とさ
えずり、「チーチー、
ジュクジュク」とも^な鳴
く。とても^{うご}動きが^{はや}速
く、^{ときどき}時々^{あらわ}庭にも^{あらわ}現れ
る。

かんさつできき
観察適期
ねん かん
年 間

- ・生き物が見つかったメッシュ ○ 印で表示
- ・生き物が見つからなかったメッシュ × 印で表示

調査結果

スズメぐらいの^{おお}大き
さで「ツピー、ツピー」と^な鳴き、^{かっぱつ}活発に^{いどう}移動します。^{たて}のどから^{くろ}縦の^{くろ}黒い^{くろ}ネク
タイ^{もよう}模様と^せ背の^{りよく}緑黄色の^{はいろ}羽色が^{とくちよう}特徴で^とかわいい^と鳥です。

^し市内^{ない}どこでも見られているようです。^{さんかんぶ}山間部の^{ふか}深いところは別ですが、^{べつ}観察^{かんさつ}できなかつた^{ばしよ}場所でも
^{じかんたい}時間帯や^{きせつ}季節を^か変えてみると^あ会えると思ひます。

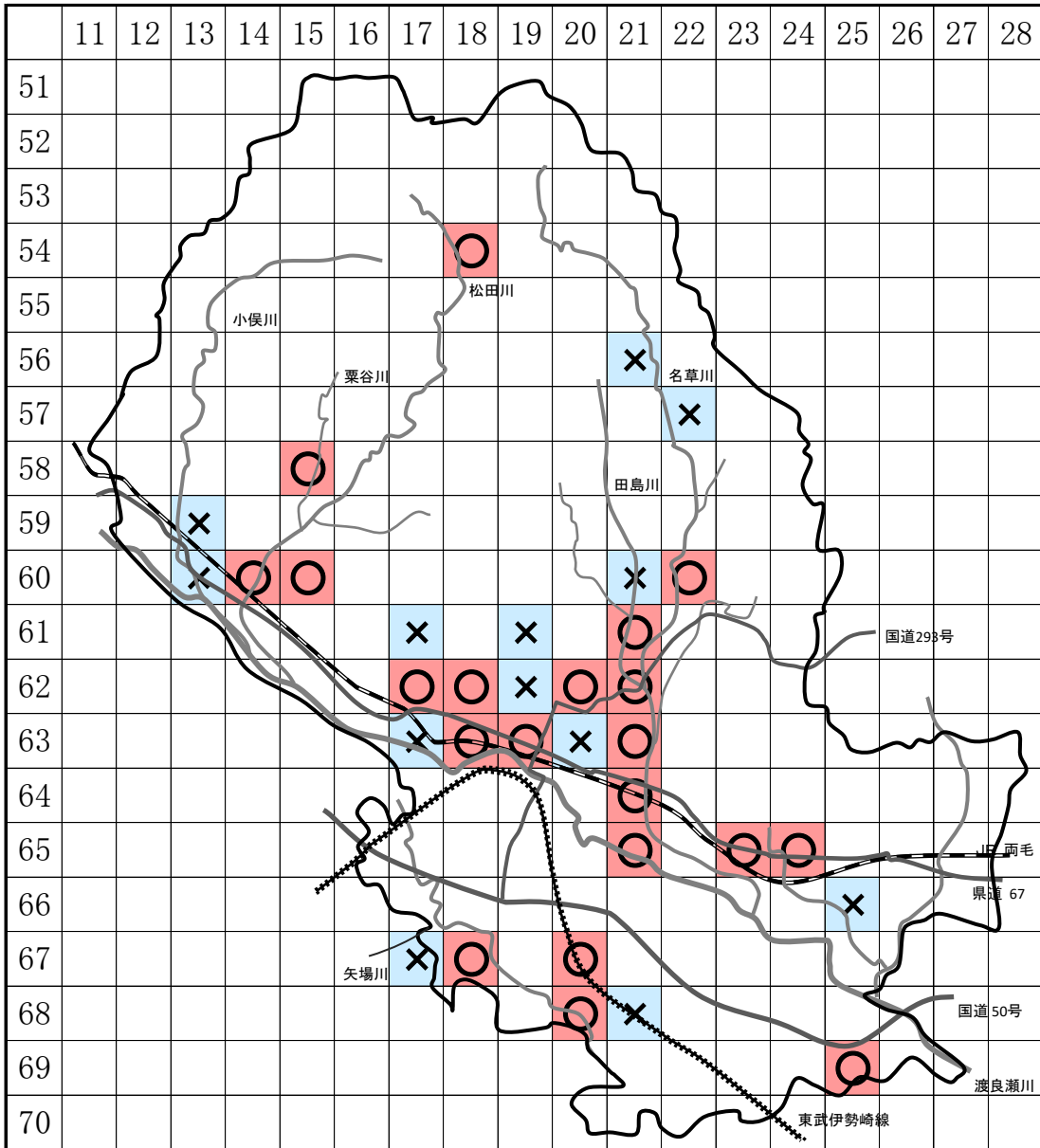
カワセミ

確認数： 21 メッシュ

報告数： 34 メッシュ

2022年度 23/35 2021年度 25/38

※過年度 確認数/報告数



スズメよりやや大き
い。くちばしが長く背
中がコバルトブルー
で、腹がオレンジ色の
美しい鳥である。水辺
に生息し、木の枝やク
イに止まって小魚をね
らい、ダイビングして
と捕らえる。水面すれす
れに直線的に飛び、
「チーツ」あるいは
「ツイー」と自転車の
ブレーキ音のような声
で鳴く。

かんさつてきき
観察適期
ねん かん
年 間

- 生き物が見つかったメッシュ ○ 印で表示
- 生き物が見つからなかったメッシュ × 印で表示

調査結果

腹のオレンジ色・背のコバルトブルー。生きた宝石といわれる様に美しい鳥です。昔は清流の鳥といわれていましたが、近年は都市鳥化して、どの河川でも見られる様になりました。確認メッシュは減少しましたが、どの河川でも見られているようです（街中の水路も含めて）。発見するとまた見たくなる鳥ですね。

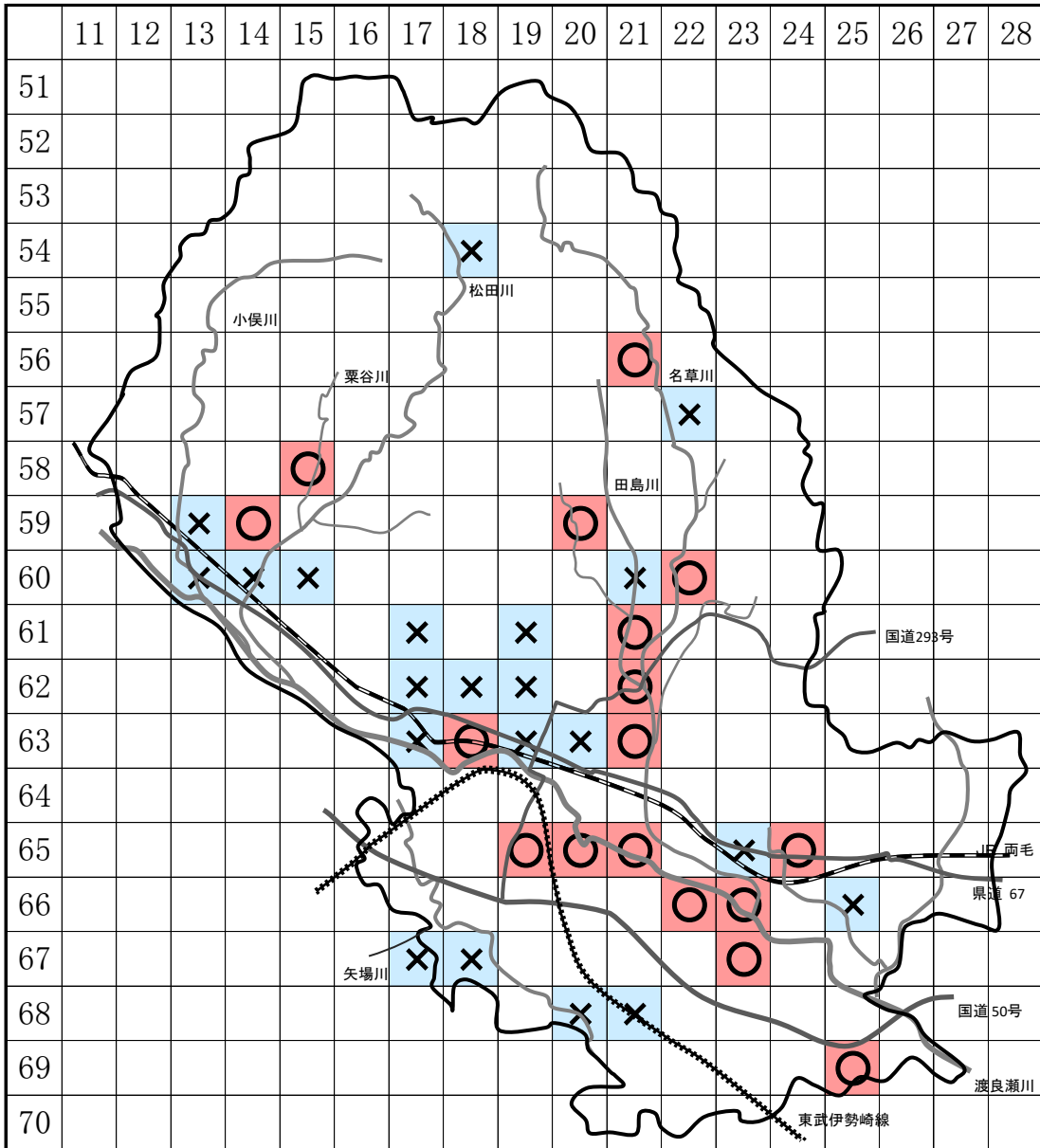
オオヨシキリ

確認数： 17 メッシュ

報告数： 38 メッシュ

2022年度 23/39 2021年度 22/42

※過年度 確認数/報告数



スズメより^{おお}大きい^{なつ}夏鳥で、4月末から5月にかけて、水辺の開けた^{みずべ}ヨシ原^{はら}（アシ原^{はら}）に飛来する。背中が褐色、胸から腹にかけて^{たんかつ}淡褐色の自立たない鳥である。見通しのよい、ほぼ決まった場所です。

「ギョギョシ、ギョギョシ」と^{おお}大きな^{こえ}声で鳴き続けるが、8月になるとほとんど鳴かなくなる。

かんさつてきき
観察適期
がつ がつ
5月～8月

- ・生き物が見つかったメッシュ ○ 印で表示
- ・生き物が見つからなかったメッシュ × 印で表示

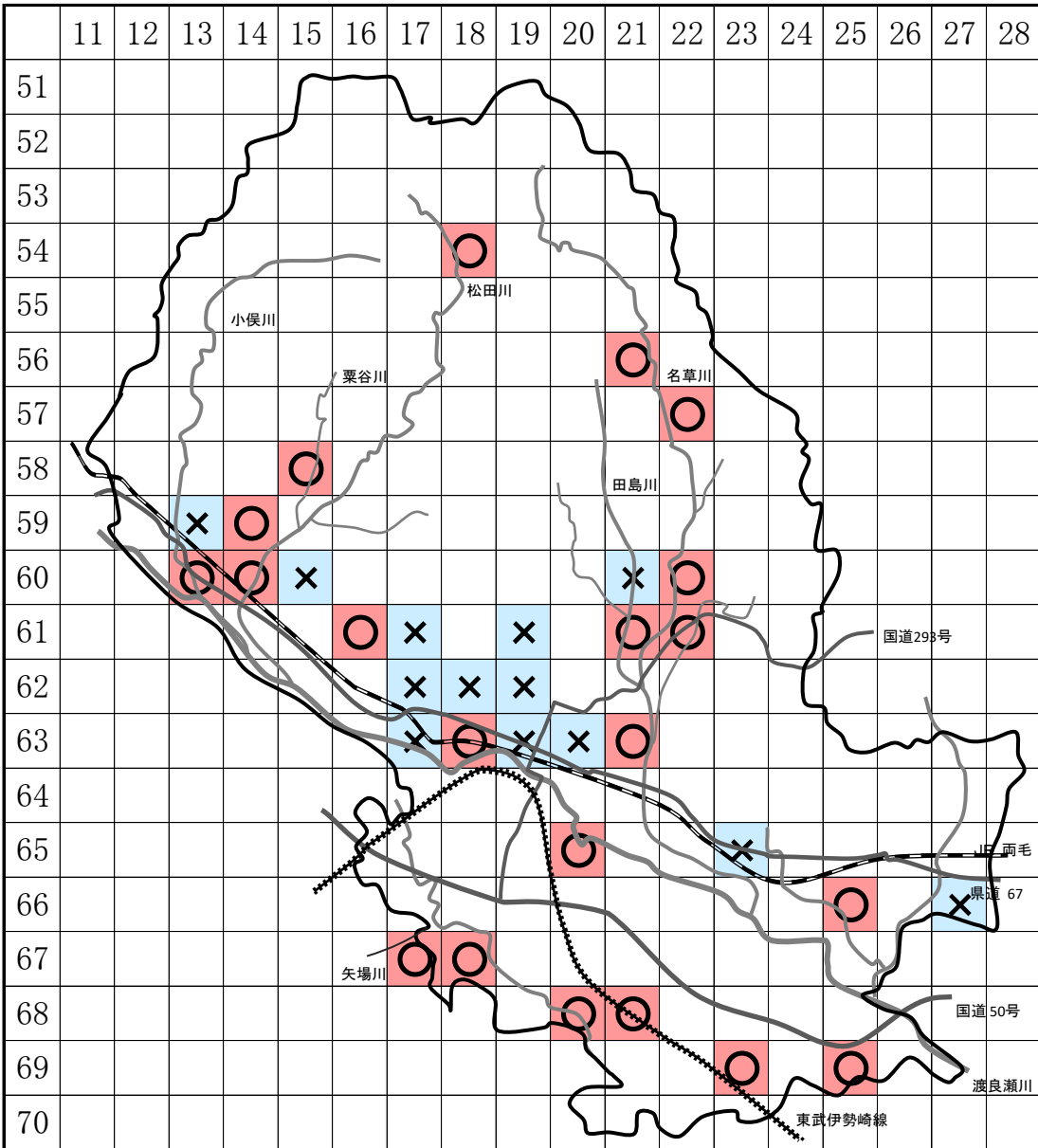
調査結果

4月下旬頃よりヨシ（アシ）等にとまり「ギョギョシー、ギョギョシー」と鳴き続け縄張りを主張します。昨年・一昨年と続けて^{げきげん}激減しており、今年も17メッシュと^{さいあく}最悪の^{じょうたい}状態です。

非常に減少の激しい傾向にある鳥だと思ひます。今後も環境の変化等を鑑み、注視していきたくと思ひます。

コ サ ギ	確認数： 21 メッシュ
	報告数： 34 メッシュ
	2022年度 23/34 2021年度 37/42

※過年度 確認数/報告数



カラスよりもやや大
きく、四季を通して見
られる普通の白サギで
ある。くちばしが黒
く、白サギ類の中では
コサギだけが足指が黄
色である。川や沼、水
田、湿地などで小魚や
アメリカザリガニ、カ
エルなどを捕らえる。

かんさつてきき
観察適期
ねん かん
年 間

- 生き物が見つかったメッシュ ○ 印で表示
- 生き物が見つからなかったメッシュ × 印で表示

調査結果

メッシュのばらつきは気になりますが（蓮台寺川が×）、各河川で見られている様です。
毎年同じお願いですが、サギ類はダイサギ、チュウサギ、アマサギ、アオサギ等色々います。
ぜひ識別を気にして観察してみてください。

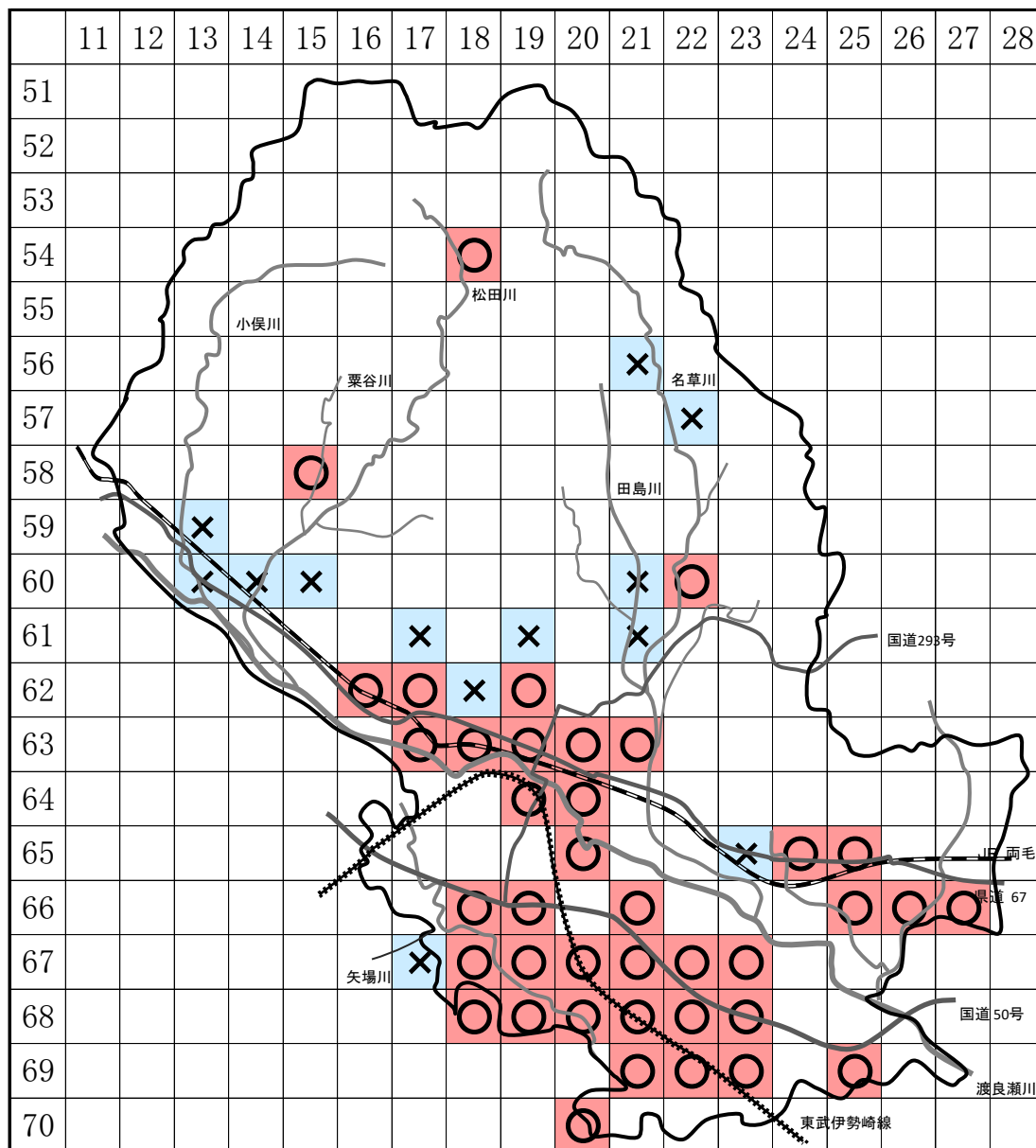
ヒバリー

確認数： 39 メッシュ

報告数： 52 メッシュ

2022年度 26/39 2021年度 29/37

※過年度 確認数/報告数



スズメより少し大きく、広々とした河原や農耕地などにすむ。色はスズメより少し淡い褐色だが模様は似ている。早春から大空高く舞い上がり、宙に留まりながら「ピーチュク、ピーチュク」と長く鳴き続ける。地上では頭の羽毛を立てている時が多く、虫や草の種子をあさっている。

観察適期
年間

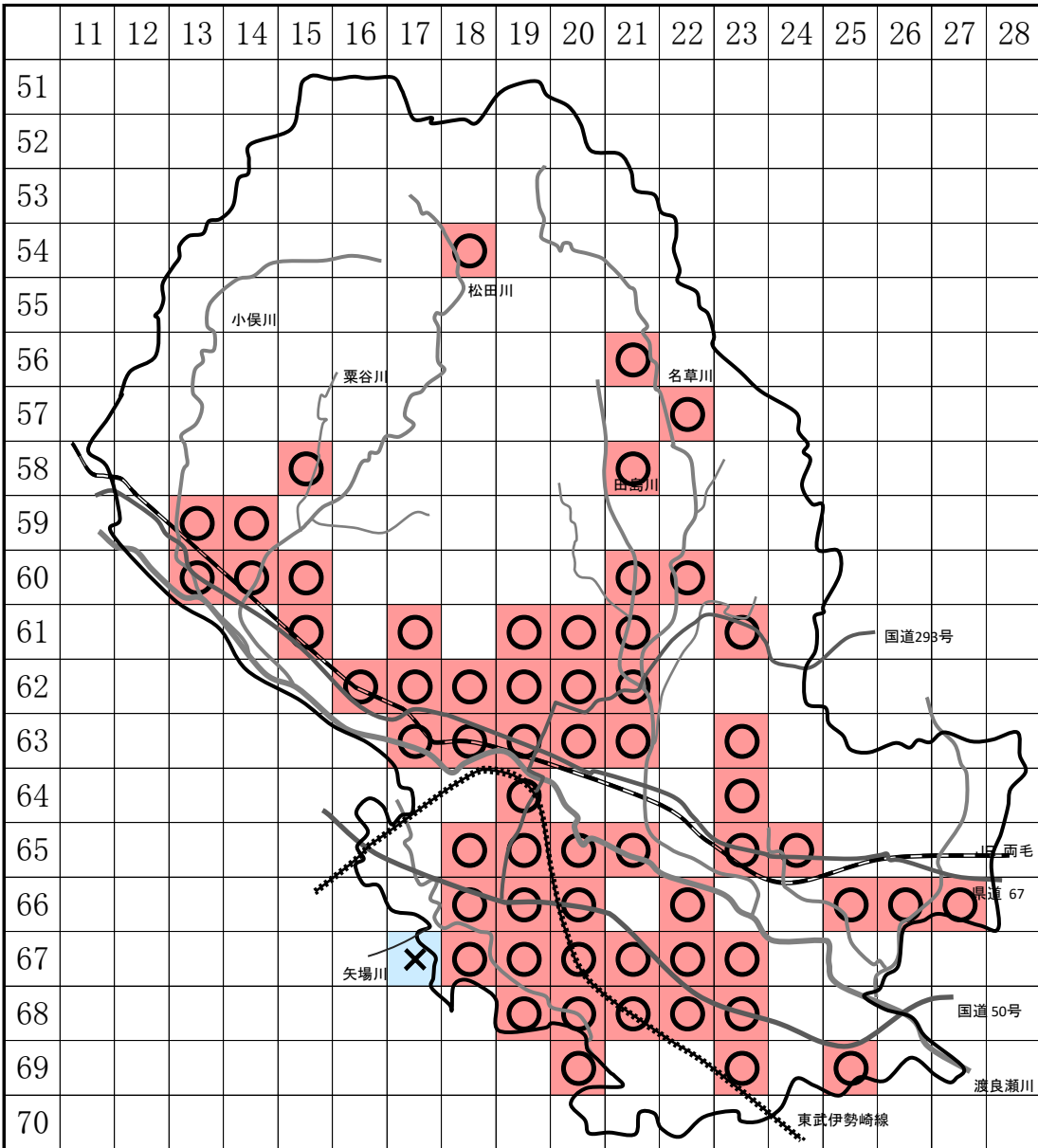
- 生き物が見つかったメッシュ ○ 印で表示
- 生き物が見つからなかったメッシュ × 印で表示

調査結果

開けた場所（草地・農耕地・河川敷など）で観察できます。天高く鳴いているのは誰でもわかりますね。
河南地区を始め、市内全体で安定して見られているように思います。

ツバメ	確認数： 59 メッシュ
	報告数： 60 メッシュ
	2022年度 55/56 2021年度 53/53

※過年度 確認数/報告数



ひとひと ^{あい}愛され、^{した}親しまれてきた夏鳥である。のどが ^{あかちいろ}赤茶色で ^せ背なか ^{くろ}く、^おお ^{なが}なが ^{ふた}ふたつに分かれている。毎年3月末から4月にかけて飛来し、軒先に土で巣を作り繁殖し、9月ごろ南へ渡っていく。

ツバメに似た、腰の白いイワツバメや、腰が茶色のコシアカツバメも見られるので、注意して観察しよう。

かんさつてきき
観察適期
がつ がつ
4月～10月

- ・生き物が見つかったメッシュ ○ 印で表示
- ・生き物が見つからなかったメッシュ × 印で表示

調査結果

ことし ^{かくにんほうこく}今年も99%の確認報告でした。

あしかが ^{かんさつ}足利ではどこでも観察できる、夏の代表的な益鳥です。

さいきん ^す ^{すく}最近は巣が少なくなっている傾向なのが心配です。

みな ^{ほうこく} ^{たの}皆さんの報告を楽しみにしています。

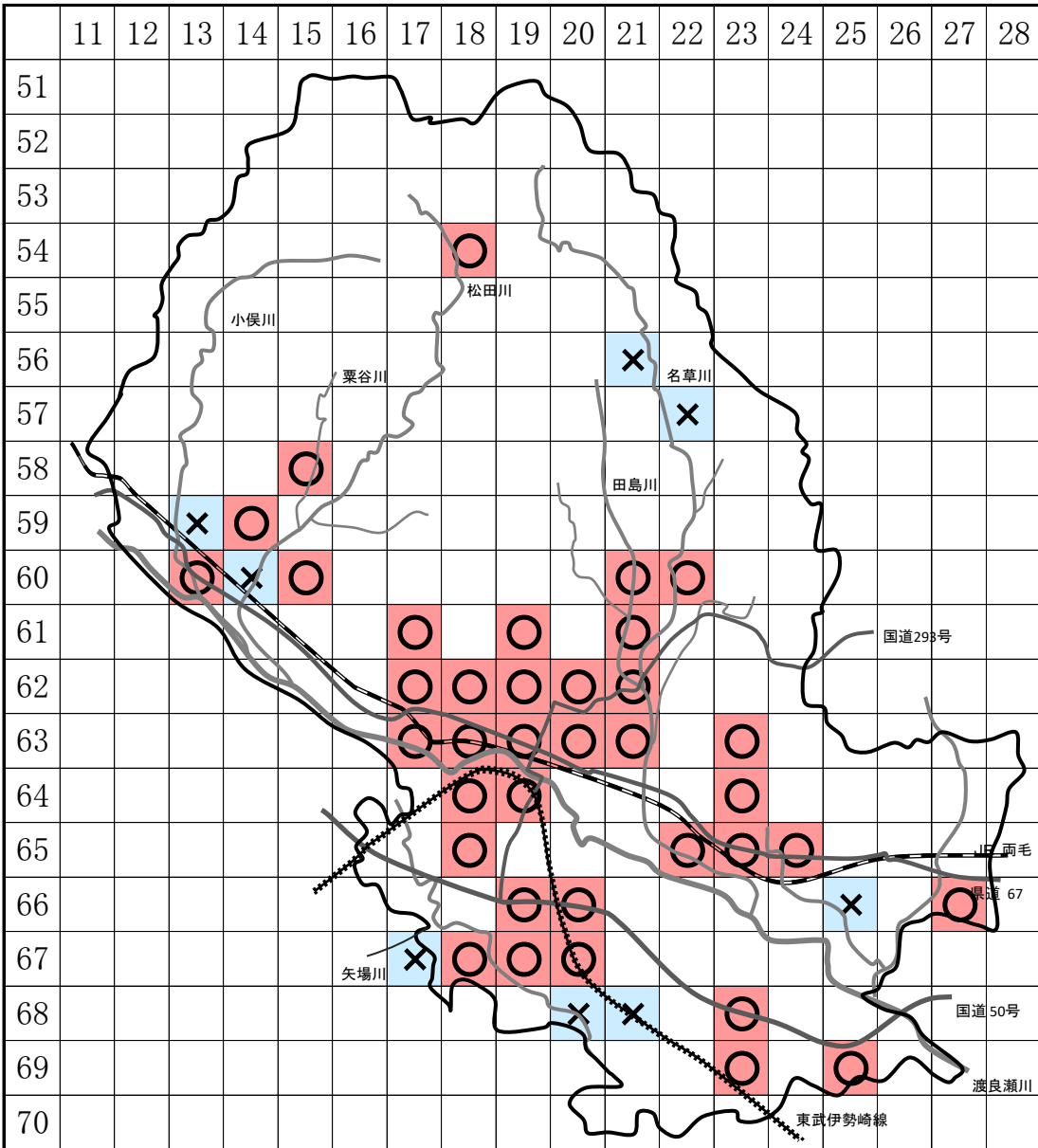
オ ナ ガ

確認数： 37 メッシュ

報告数： 45 メッシュ

2022年度 39/44 2021年度 43/48

※過年度 確認数/報告数



キジバトくらいのおお
 大きさを、頭が黒く、背
 中が灰色で、水色の尾
 羽が名前のとおり長い
 のが特徴である。樹の
 多い市街地や村落の樹
 上に巣を作り、昆虫や
 木の実を食べている。
 年中、「ゲーイ、ギユ
 ギユ」と鳴きながら、
 十数羽の集団で行動
 し、関東地方ではふつ
 うに見られる。

かんさつてきき
観察適期
 ねん かん
 年 間

- ・生き物が見つかったメッシュ ○ 印で表示
- ・生き物が見つからなかったメッシュ × 印で表示

調査結果

特徴のある鳴声で、5~10羽くらいでの群れで移動しています。声はダミ声ですが、姿は黒い頭に
 背は灰色・水色の尾羽できれいな鳥です。
 市内全体で観察されていますね。